

大会長 挨拶

全世界の教会が祈る中、第2回東北日・韓キリスト者信仰回復聖会が開かれる事を心から感謝申し上げます。2011.3.11以降、東日本の住民は地震、津波、原発事故の三重苦しみから必至に立ち上がろうとしております。私たち日・韓のキリスト者一同は壮絶な悲しみと痛ましい傷跡を抱えているお一人お一人が、一日も早く立ち上がれるよう祈りつつ、できる限りの力添えをさせていただきたいと願っております。

2012. 9.11. クリスマン新聞に

“神よ。御名によって、私をお救いください…すべての苦難から私を救い出し…”

(詩篇54：1-7)

について解説がありました。

“どんなことがあっても、主よみこころをなしたまえ、とよりたのみ、お祈りすることを忘れないように。目前の苦難の背後に動く、見えざる御父のみこころを信ずる者のみが、いざという時にも、かくのごとくダビデのような清澄な歌を歌えるのです”

(F・B・マイヤー原著、小畑進編著『きょうの力』)

私たちキリスト者は F.B. マイヤーのように、ダビデのように、また、主イエス様が祈られたように、わたしの願いではなく、みこころのとおりにしてください (ルカ 22：42) と祈ることが出来るでしょう。

そして、主の弟子たちが荒波の中で、恐ろしさのあまり、叫び声をあげ、主よ。助けてくださいと言った時に、しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない---信仰の薄い人だな---なぜ疑うのか。(マタイ 14：22-33、マルコ 6：45-52、ヨハネ 6：16-21)とイエス様が仰った御言葉に耳を傾けることが出来るでしょう。

今日、私たちは宇宙万物をお創りになって、この世の営み全てを統べおさめられる天の神様に日本の救いを追い求めようとして集まりました。そして、荒波に向かって足を踏み入れたペテロのように、イエス様の復活の全能なる力に頼り、イエス様と共に荒波の中を歩もうとして集まりました。

去る一年半、目前の苦難の背後に動く、見えざる御父のみこころを味わい、感謝の涙を溢して来た私たちは、これからも共に働かれる神様の御業を歌いつつ、復興の業に黙々と進もうではありませんか。

御名によって祈りつつ

在日韓国基督教総協議会 全国会長 趙 泳相 牧師

2012. 9.17.